

地域ケア推進会議 報告書

【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2023年7月25日
作成 高齢者支援センター	忠生第2
作成者	

1.開催日時	2023年7月7日	(金)	10:00	～	11:30	
2.会場	TSUTAYA町田木曾店					
3.主催センター	忠生2	・	0	・	0	
4.参加人数	20					
5.参加者内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者支援センター	5人	<input checked="" type="checkbox"/> 医療と介護の連携支援センター	1人		
	<input checked="" type="checkbox"/> 医療関係者	1人	(うち、医師	人)	<input checked="" type="checkbox"/> 介護事業者	3人
	<input checked="" type="checkbox"/> 民生委員	3人	<input type="checkbox"/> 老人会	人	<input checked="" type="checkbox"/> 住民	7人
	<input type="checkbox"/> 町内会自治会	人	<input type="checkbox"/> 警察	人	<input type="checkbox"/> 行政	人
	<input type="checkbox"/> その他	()				
6.開催テーマ	入院が必要になる時の備え					
7.地域課題	(1)課題設定の背景					
	<p>身寄りのいない独居高齢者の救急搬送に伴い、緊急連絡先の確認や入院時に必要な物品の用意や入院費の支払い等多くの支援が必要となる。ケアマネージャーがついていても業務範囲は限られており入院時の手続きがスムーズに進まない事が増えてきている。</p> <p>(2)検討した地域課題</p> <p>独居高齢者が増加する中で救急搬送や急な入院治療が必要な方も増加。身寄りがいない方や近くに親族がいない方の場合、「もしも…」に備えられるようにしてスムーズに治療が受けられるように準備してほしい項目等を住人に周知する必要がある。</p>					
8.会議の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア推進会議開催に至る経過報告 ・入院支援に関わる忠生第2高齢者支援センターの現状 ・入院の現場より町田病院地域連携課長からの報告と提案。 ・グループワーク・グループワークの発表と質疑応答 ・医療と介護の連携支援センターより総括をいただく。 					
9.課題に対する対応策・今後の地域での展開	<p>・もしもの入院時に備えて「限度額適用認定証」「後期高齢者医療限度額適用・標準負担軽減額証」の存在を周知する。本当に必要な方や入院リスクが高い方にはあらかじめ入院に備えて取得ができることや1年毎に更新手続きが必要になる事を周知する。そのほか「障がい者手帳」「難病手帳」をお持ちの方は入院時忘れずに持参する。・入院時には「入院保証金」が必要な病院が多いことを知っておく。そのほか必要な物品についての知識を持つため市民向けの一覧表を配布するなど周知を図る。その他住民の備えとして家族の連絡先のメモの準備や、救急時にあんしんキーホルダーの情報の活用ができるように登録を促す・「急変時の希望、延命治療等に対する考え」を「わたしの思い手帳」等にメモするなど意識してもらえるように自治会、老人会の集まりなどの時に情報提供を行っていく。</p>					

医療と介護の連携支援センター 確認欄	<input checked="" type="checkbox"/> 確認済み
--------------------	--